

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22223002	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	増山 幹高 (政策研究大学院大学・政策研究科・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化をめざして、特に立法府の政策情報公開を促進し、かつ、これまでの地方自治体の政策情報供給の効果を実証的に検証しようとするもので、その意義は大きい。そのうち、立法府の情報公開については、議事録と同期した国会審議映像検索システムの開発に成功し、既に利用しやすい形で一部公開していることは高く評価できる。今後は、情報開示請求データベースシステムを利用して具体的研究成果を公表するなど、研究の取りまとめと成果の公開に一層の努力を期待したい。

【平成27年度 検証結果】

検証結果	当初目標に対し、期待どおりの成果があった。
A	当初の研究目的である、わが国の政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化について、情報開示請求データベースシステムと国会審議映像検索システムを開発し、稼働させており、当初の予定どおりの成果が達成されたと判断できる。後者は、英語による検索が可能となっており、国外への発信力も大きい。 今後、両システムの一層の拡充と改善、及び包括的な研究成果の公表による社会的な周知を期待する。